

子どもの森づくり運動 東北ブロック研修会2012

<実施報告>

(目次)

- 1) 開催趣旨
- 2) 開催内容
- 3) 開催風景
- 4) 開催スケジュール
- 5) 参加者リスト
- 6) アンケート内容

2013年1月

NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(子森ネット)

tel:03-5711-0362 / fax:03-5711-2264

mail to info@kodomonono-mori.net

1)開催趣旨

幼稚園・保育園の活動に、今もつとも求められる下記三つのテーマに対応する講座を用意し、「本当に役立つ実用的な研修会」を目指します。

- ①子どもたちの豊かな資質づくりのための「自然体験活動」
- ②環境の時代を生きていく子どもたちのための「環境学習」
- ③東日本大震災を踏まえて、緊急に求められる「危機管理」

2)開催内容

- ・主催:NPO法人 子どもの森づくり推進ネットワーク
- ・協力:岩手県私立保育園連盟 駒形保育園 社会福祉法人三心会
- ・日程:2012年11月27日(火)、28日(水)
- ・会場:花巻温泉「ホテル紅葉館」岩手県花巻市湯本1-125 TEL:0198-37-2140
- ・参加費:15,000円(研修費、保険料、宿泊費、懇親会費)
- ・参加者数:26人(保育園職員20人、講師4人、事務局スタッフ4人)

3)開催スケジュール

<27日(火)>		<28日(水)>	
13:30	開会式 基調講演 被災地からの報告 ～東日本大震災の教訓～ 山田町第一保育所 所長 阿部哲雄氏	8:30	自然体験・環境学習講座① ～活動意義～ (独)森林総合研究所 多摩森林科学園 教育的資源研究グループ グループ長 大石康彦氏
14:30	危機管理講座(実技含む) (株)タフジャパン 代表 鎌田修広氏	9:30	講座終了/休憩
17:30	講座終了	9:45	自然体験・環境学習講座② ～実践例(実技含む)～ 森林インストラクター 河内和男氏
	チェックイン / 休憩	10:45	講座終了/休憩
18:30	懇親会(兼・夕食)	11:00	「東北復興グリーンウェイブ」 のご案内 「子森ネット」代表理事 清水英二
		11:30	まとめ、ふり返り
20:30	終了	12:00	閉会式

3)開催風景

●山田町第一保育所 阿部所長による基調講演



●鎌田講師による危機管理講座



●大石講師、河内講師による自然体験・環境学習講座



4) 参加者リスト(都道府県別/順不同)

NO	県名	園名/所属	名前(敬称略)
1	北海道	三和新琴似保育園	菊地秀一
2	秋田県	湯沢保育園	岸大助
3	秋田県	湯沢保育園	木曾彰
4	岩手県	福原保育園	菊地淳
5	岩手県	豊間根保育園	中村雅堂
6	岩手県	織笠保育園	福士浩尉
7	岩手県	山田町第一保育所	上野瑞徳
8	岩手県	駒形保育園	山下明
9	岩手県	駒形保育園	及川大樹
10	岩手県	赤前保育園	小関憲一
11	岩手県	下太田保育園	高橋学
12	岩手県	ふじみ保育園	藤原誠
13	岩手県	もみじ保育園	菅野夏美
14	岩手県	もみじ保育園	千葉芳枝
15	岩手県	もみじ保育園	今野良重
16	岩手県	平舘保育園	工藤美智子
17	岩手県	むつみ保育園	梅原瞳
18	東京都	中目黒駅前保育園	天野隆史
19	神奈川県	渕野辺保育園	田中宏忠
20	滋賀県	崇徳保育園	谷口瑞石
21	岩手県	講師	阿部哲雄
22	神奈川県	講師	鎌田修広
23	東京都	講師	大石康彦
24	福島県	講師(子森ネット)	河内和男
25	東京都	子森ネット	清水英二
26	東京都	子森ネット	勝目ともこ

5) アンケート内容

① 研修会全体へのご感想をご記入下さい。(以下、アンケートご提出順に掲載)

年齢/性別	内容
50代 男性職員	<p>「子森ネット」の研修に初めて参加しました。どのような会なのかと思っておりましたが、活動を今回お聞きして人間と自然との共生が大切なことを知り、その為にどんぐりを拾い、「全国の保育園、幼稚園の子ども達が「互いに相手のことをおもいやる心」をはぐくむ機会を提供して子どもと自然とそして今回の災害に対しての被災地にいる子ども達の元気につながる様な活動プロジェクトも企画されるなど、大変共感する事も多くありがたかったと思いました。当園も被災地域にあり、森があり森が遊び場であり森が子ども達を守ってくれました。今回、スケジュールの中では、危機管理と自然災害と環境とのかかわりと難しい様でもすべて共通するものがあり「命」「自然」を「守る」大変大事な事だと思いました。2日間ありがとうございました。</p>
20代 女性職員	<p>2日間にわたる研修会に参加させていただき、とても勉強になることばかりでした。実技をまじえながらの講義でイメージの大切さを実感し、万が一の時、どう動けばいいのか、ゆっくりと時間をかけて訓練すると見えないうところも見えてくるということ学びました。保育者として、子ども達の命は絶対に守らなければならないので、危機管理意識を高く持ち、現場で役立てていきたいと思いました、また、母の言葉「あなたは素敵な人だから」という言葉に感動し、私もそんな保育者になりたいと強く思いました。どんぐりを育てる意味、育て方を学び我が園でも子ども達に体験させることができればいいなと感じました。又、葉っぱのプロッタージュは子どもでも簡単にできるので、園でも実際に行きたいです。二日間、とてもいい勉強になりました。ありがとうございました。</p>
40代 女性職員	<p>自然体験、環境学習、危機管理 どの講義でも”感じる”事の大切さと改めて学ばせていただきました。また意義を学ぶことができました。とても充実した研修でした。人数が少なくもったいなかったですが、園に持ち帰って、私なりに伝えられることを伝えながら自分のできることに今日から取り組んでいこうと思います。ありがとうございました。</p>
20代 男性職員	<p>危機管理の部分でとても勉強になりました。他園の計画書や訓練方法などを知ることができてよかった。実技もわかりやすかったです。自分の園にもどんぐりの木があり、拾って遊んでいるので、そこから植える、観察するという活動につなげられると心の成長を促せると思った。森づくり運動の活動も今回の研修で知ることができたので、園の方で話し合って参加できたらと思います。</p>
20代 女性職員	<p>被災地からの報告では、写真を見て話を聞き、改めて地震、津波の怖さを知りました。同時に子どもの命を絶対に守るという気持ちで普段からできることを行ったり、実際にその場に出くわしたとき冷静に対処する大切さを感じました。子どもの森づくり運動では、講演を通して、私たちがいかに恵まれた環境があるか、それを活用していきたいと思いました、どんぐりを植えることは今すぐできることではありませんがプロッタージュやクラフトは簡単に実践できるので、園に帰り伝えたいと思います。ありがとうございました。</p>

20代 男性職員	<p>様々なプロフェッショナルの方の講演を聞く機会ということが私自身の経験の中で少なく、どの講演にも実生活に活かせる内容がもりこんであって、この2日間の聞いた事、感じたこと、思ったこと等私自身の実生活や保育の現場に活かしていきたい内容でありました、またたくさん(全国)の先生方との出会いがあつて様々なお話ができた事も私にとっては貴重な経験となりました。子森ネットさんを通して、様々な経験、そしてたくさんの方に会えたこと、本当にありがとうございました。</p>
40代 男性職員	<p>京都に引き続き、2回目の受講させていただきましたが、やはり新鮮さと知恵をいただきました。心の中には、言葉では表現できない何か眠っているのですが、エキスパートの先生方のお話や提案を聞くにつれ、目覚め、動き出そうとしそうな感覚を抱きました。再会できた方、初めてお話をさせていただいた方、本研修会の意義は、人と人とのつながりを大切にすることでもないかとも思います、全私保連岩手大会の話も出て、「また会おうね」というつながりがとても温かく感じました。主催された「子森ネット」さんには、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>
40代 男性職員	<p>たくましく生きる力「生き延びる力」を危機管理と自然のつながりという視点から深く考える機会となりました。たくさんの気づきがあり参加してとてもよかったと思います。絶対に命を守る！という覚悟、そのためにはポジティブな日ごろの意識を持つこと。イメージが大切なこと。「助かる人」から「助かる人」になる、その意識を持つことなど、心に残るキーワードがあります。自然とのつながりでも、改めて、自然ともっとかかわりあり、子ども達に豊かな自然の中での体験をさせてあげようと思いました。自然と中で生きている 自然と共生していることを自然とのつながりを学び感じて、子ども達に伝えていきたいと思います。東北復興グリーンウェイも積極的に参加して、自然とのつながり、復興に向けて頑張っている人たちとのつながりつくり広げていきたいです。”ともにたくましく生きる力”子どもと一緒に育んでいきたいです。</p>
20代 男性職員	<p>被災地、被災園ということで、今回に参加し、阿部所長の話聞き、昨日のように思い出しました。想定外の事も考えていく力をつけて行かなければ何がおこるかかわらないと対応できないなと思うようになりました。まさかとは思ったが、予想以上の出来事で正直生きていけないかなと不安になりましたが、子ども達から逆に元気をもらい、仕事を続けることで自分の存在感、この子達と生きていかなければならないと本気で思い、町の復興に向けて頑張ろうと思っています。その中で実際に子森ネットさんのプロジェクトに参加させていただき、貴重な体験ができたなと思います。拾う、植えるということをやってみたのですが、自然と一体化した様に感じ自分も一緒になって楽しむことができました。今日の講義でやっぱり自然と触れ合う時間が足りないなと思い、もっともっと散歩にでかけよう。花もとらない、虫もとらないという考えは捨てて、保育にあたらろうと思います。また、鎌田先生の講義では実技を通してながらとても楽しめた。自分の五感をフルに活用し、動機づけを大事にしてやってみようと思います。危機管理に対してうすかった。</p>
40代 男性職員	<p>京都での研修会に引き続きお世話になりました。ありがとうございました。私にとりましては今回の学びが前回の学びの深まりとなりました。どんぐりの活動を通して心や意識の成長、生き方をどうするのかといったことに思いを致せることか たいへんありがたいとおもいます。初めて聞かせていただいた阿部先生のお話も、たくさん考えさせられました。また、岩手の先生方とお付き合いさせていただいたことも、ぜひ今後の活動や私自身の人生につなげていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p>

40代 男性職員	内容の濃い充実した研修となりました。私たちができること伝えられることたくさんあったかと思えます。ありがとうございました。
40代 男性職員	途中参加でしたが、鎌田先生の講演(力の脱力)など勉強になりました。どんぐりを育てる意味(4年前)はわからにいましたが、子どもたちと共に生きる心を理解できた気がしました。ありがとうございました。
40代 男性職員	阿部哲雄先生のお話は何度聞いても涙があふれるほど保育士の力が伝わってきて、震災がもたらしたものの意味が問われる講演でした。鎌田修広先生の元気で前向きな姿勢に心打たれ危機管理だけではなく、社会人として職員に伝えてゆければと感じました。大石康彦先生の穏やかな中にもあつい情熱が感じられる講演でした。河内和男先生が朝早くから落ち葉を拾って用意していただいたフロタジュ、もっと時間があればと思いました。清水代表はじめスタッフの方々のおかげさまで楽しい2日間をいただきました。ありがとうございました。今後とも末永く出会いが続いてゆきますようにお願いします。
30代 男性職員	数日前に会の存在を知り、活動内容もよく理解していないまま参加させていただきました。今、集会に参加し、ねらいや活動内容を知り、勉強になりました。前向きに検討させていただきます。
50代 女性職員	基調講演では内陸の本園では想像もつかない事がおきていた。テレビでは見ていたが、その場に自分がいたら、どのようなことができたろう。心が痛い思いである。危機管理の中にも、このような災害が起きた場合にも、行動できるように意識をしながら、生活していきたい。子どもの森づくり運動を本園なりに子ども達と一緒に学びながら、遊びながら楽しく行動を少しづつ起こしながら進めていきたいと思う。
40代 女性職員	子ども達の大好きなどんぐり その育ち重要性を継承していく必要性をわかりやすく教えていただきました。人間をはじめとするすべての生物に森林が果たしている役割を自然とかかわる中で子どもと共感していきたいと思えます。
20代 男性職員	危機管理では、日常から意識していく(できる)危険に対する心構え、日々の保育、これからの保育に役立つ話を聞くことができ、新しく実践していきたいと思つことができました。自然について、どんぐりを植えることについて、知らなかった自然の状況、気づかなかった子どもの反応、生態系についても考えることができた。これから園で育っていくどんぐりの木をどうしていくかどのようになるものなのかを知ることができた。
20代 男性職員	被災地からの報告や危機管理の話を聞いて、関東地方で起ころうとしている大地震に対して、今までは、”本当に起こるのか？”まあ大丈夫だろうというように考えがちであった。その姿勢を改める必要を強く感じた。”後でやろう””誰かがやるだろう”では、子どもの命を守れない。それは災害の時だけではなく、日々の保育の中から危険からも守れないということを実感することができた。助けられる人から助ける人になりたいと感じ、考え方を見直し、行動したい。森づくり運動については”なぜどんぐりを植えるのか”その理由をもう一度子ども達と再確認し、大切にしていきたいと感じた。どんぐりを植えることで、小動物の命を支え、それが木の種を保存を支えており、森の社会に貢献できている。共生しているということ。感じられたらいいと感じた。
20代 男性職員	1日目の危機管理では日ごろからの一人ひとりの意識づけが大切だということを知り被災した事を踏まえ、今後の保育や自分自身の生活にてらし合わせて過ごしたいと思う。二日目は、森づくりや自然体験のいろいろな可能性をあらためて知り、学ぶことができたので、子ども達と一緒に身近な自然にふれて遊んでいきたい。

②今後、「子どもの」森づくり運動、及び「子森ネット」として取り組むべき活動があれば、ご意見をお聞かせ下さい

年齢/性別	内容
20代 男性職員	また、このような研修会があればぜひ参加させていただきたいです。どんぐりの育成に関し、知識も少ないため、自園のどんぐりの苗の成長によりアドバイスをいただけたらありがたい。
40代 男性職員	松枯れ、ナラ枯れが気になりました。「若い森づくり」各界とコラボして進めていきたいですね。我が国は「森」と「水」のあふれる国でありたいです。大切な資源(宝)です。
20代 男性職員	復興グリーンウェイブ活動の拡大をがんばってほしい。
20代 男性職員	プランターに植えた苗を山田町のどこに植えればいいのかなどと思っています。一緒に考えていきたいなと思っています。
50代 男性職員	森での体験学習として、キャンプを通じた研修もしていただけたらと思います。ディキャンプでもいいので、森で中でやったらすごくいいものではないかと。よろしくお願いします。
20代 男性職員	外での実技講習であるならぜひ参加したいと思います。
20代 女性職員	子ども達が簡単にできるクラフト、その他活動など具体的に知りたいと思いました。
30代 男性職員	中心の活動は置いておき、個人的に木工製品が好きなので、丸太のプランターに魅力を感じました。駒形保育園さんの大きなフクロウのきぼりは見たことがあります、いきさつがわかり、うらやましく思いました。ナラ枯れの木を木工製品にし、本会の活動に役立ててほしいと思います。
40代 男性職員	次年度の岩手での全国大会に向けてできることがあればぜひ！と思います。その際には私も何らかの形で協力させていただきたいです。
50代 女性職員	本園でも秋の遠足にて、「見分け森」にてどんぐりを拾ってきた。そこで職員が発芽させようと取り組んでいるようですが、説明をお聞きしてみて少し不安なところがでてきました。これからでもまだ、できるということなので試してみたい。
20代 男性職員	自然に子ども達がもっと触れ合える環境、場を私達もまだまだ知らない事が多いので、これからも教えていただき、一緒に交流できればと思います。